

推定交通量及びその算出の基礎を記載した書類

## 第 1 . 推定交通量

一般国道 1 6 号 ( 八王子バイパス ) の年度別推定交通量は別表 1 のとおりである。

## 第 2 . 推定交通量算出の基礎

### 1 . 推定方法の概要

当該路線の実績交通量の推移及び国土交通省が算出した将来交通需要推計値を用いて、推定交通量を算出した。

### 2 . 推定交通量の算定

平成 1 8 年度から平成 2 2 年度については、実績交通量及びその伸び率を考慮して算定した。

平成 2 3 年度以降については、前年度の交通量に、「関東臨海部の将来交通需要推計値 ( 平成 1 5 年 1 1 月国土交通省算定 ) 」の変化率を乗じることにより算定。

なお、当該路線の交通量に大きく影響を与えることが予測される新規供用路線については、その影響を考慮している。

## 第 3 . 推定交通量算出のための設定条件

### 1 . 基礎データ

#### ( 1 ) 将来自動車交通需要

「全国将来交通需要推計 ( 平成 1 5 年 1 1 月国土交通省算定 ) 」のうち、関東臨海部を使用。

年 度	H 1 2	H 2 2	H 3 2	H 4 2	H 5 2	H 6 2
関東臨海部 走行台キロ ( 億台キロ / 年 )	1,426	1,567	1,649	1,642	1,580	1,526

( 2 ) 道路整備状況

当該路線の交通量に大きく影響を与えることが予測される新規供用路線の完成予定時期を以下のとおり設定した。

イ 会社が新設又は改築を行う高速道路

別表 2 のとおり。

( 3 ) 割引による料金弾性値

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律（昭和 33 年法律第 34 号）」に基づく高速道路利便増進事業に係る割引については割引内容に応じて料金弾性値を 0 ~ 0 . 1 に設定した。

別表1 一般国道16号(八王子バイパス)の年度別推定交通量

年 度	交通量 (百万台キロ)
平成18年度	54.4
平成19年度	54.0
平成20年度	53.2
平成21年度	53.6
平成22年度	53.0
平成23年度	53.0
平成24年度	53.1
平成25年度	39.9
平成26年度	40.2
平成27年度	23.6

別表2 会社が新設又は改築を行う高速道路

《新設区間》【一般有料道路】

道路名	区間名	延長 (km)	完成予定年度	備考
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)	相模原IC～八王子南IC	14.8	H24	

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

協定は概ね5年ごとに変更を行う予定であり、6年目以降の完成予定年度については、協定変更に合わせて、最新の情勢を踏まえて確度の高いものに見直されることとなる。